

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	内科	申請医師	
レジメン名	CDDP+ビノレルビン(アプレビタントカプセル) 化学療法委員会承認年月 平成 年 月		
疾患名	非小細胞肺癌		
適応分類	適応の備考		
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク day1:高度、day8:最小度
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン80mg/m ² day1、ロゼウス(ビノレルビン)25mg/m ² day1.8			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート/方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
1	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
2	主ルート	ハロ/セトロン注0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																				
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	シスプラチン注	80 mg / m ²	2 時間	●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																									
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●													
	点滴静注		/	/																					
5	側管	生食50mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ロゼウス注	25 mg / m ²	15 分	●							●													
day8は主ルート																									
6	主ルート	20%マンニトール注300mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注		/	/																					
7	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
7	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●													
	点滴静注		/	/																					
9		アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																				
	経口投与		/	/																					
シスプラチンの投与1時間前に服用																									
10		アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																		
	経口投与		/	/																					
分1午前中に服用																									
11		デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																
	経口投与		/	/																					
分2朝食後																									

【投与上の注意】

- ・day2~5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。
- ・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。
- アプレビタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
- アプレビタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗制吐剤と併用して使用すること。
- アプレビタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
- アプレビタントを併用しない場合は、day1のデキサートを16.5mgに増量する。
- シスプラチン:希釈は生食のみ。
- シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。